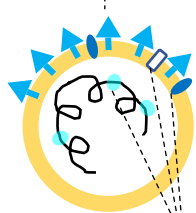


コロナに対する免疫において、抗体の役割は・・・さほど大きくはない（重症者では重要）

スパイクタンパク
変異が多い



各種のタンパク
変異が少なく安定

免疫はチームプレイ（各種の細胞や物質のチームワークが大切）

自然な感染の後（あるいは生ワクチンの接種後には）、ウイルスの様々なタンパクに対するバランスのとれた免疫ができる

軽症 → 抗体はできたりできなかったり

中等症以上 → 抗体ができる

出来た抗体は数年以内に消失する（抗体の消退理由は不明）記憶は残る

スパイクタンパクに対する抗体を**大量に**産生させる



mRNA ワクチン

イスラエルでは、感染者は半年間接種禁止

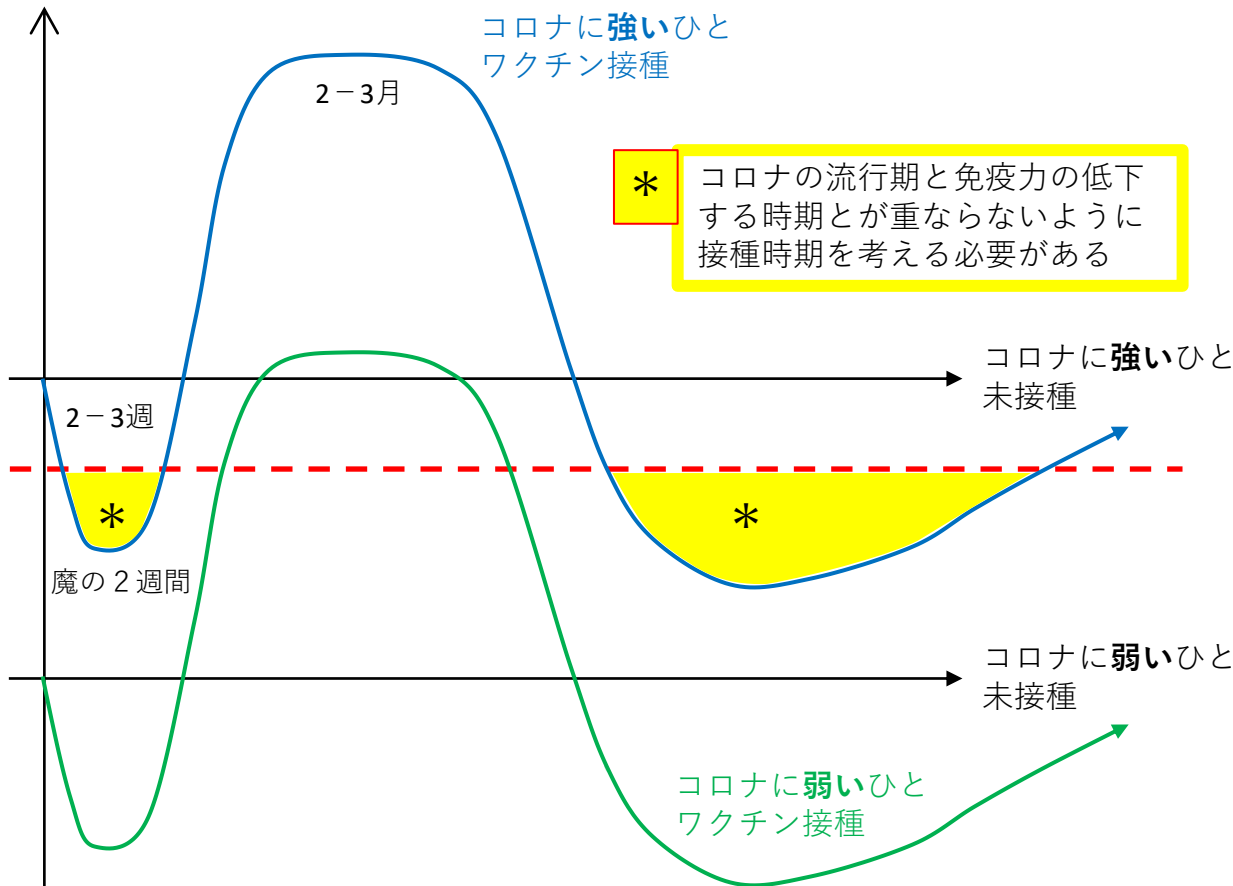
感染後1か月以内の接種 → 炎症再燃の恐れあり

免疫系は学習システム → 記憶は上書きされていく

一部の人では影響が強く出る



コロナに対する免疫力



Twitter ツイッター等では最新の研究成果が紹介されています。ワクチン推進派、慎重派、双方の意見を見て、今後の接種を計画しましょう。デマも多いので要注意。今後もいろいろな感染症の流行が予測されています。そこで、お奨めの免疫入門の本：「マンガでわかる免疫学」河本宏、オーム社